

# Flash Editor

## 取扱説明書

【SUZUKI】  
SWIFT SPORT [ZC33S]  
対応年式：2017/9～

E84511-S20010-00  
2020.7発行  
Ver. 3-1.01

1. はじめに

**本製品Flash Editor SUZUKI SWIFT SPORT 用を使用するには、別途下記が必要となります。**

- ・Windowsパソコン (Windows10、8.1、8 の何れか)
- ・USBケーブル (USB [A] オス - USB [micro-B] オス)

- この度は、Flash Editorをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及び、使用する前に本書をお読みください。
- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
  - 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付車両を基準に開発されております。以上の車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
  - 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、お買い上げの販売店にお問合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・車両形式・エンジン形式を注文先にお伝えください。
  - お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  - 本製品は、DC12Vマイナスアースの国産車のみに使用可能です。
  - 本製品の仕様は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
  - 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

商品名	Flash Editor
コードNo.	42015-AS102
用途	純正ノーマルECUのリフラッシュ用
使用可能車種	SUZUKI SWIFT SPORT [ZC33S] 2017/9～

2. 目次

1. はじめに	P 1	9. その他の機能と表示	P 6
2. 目次	P 1	10. 故障かなと思う前に	P 7
3. 安全上の注意	P 1	11. 異常・故障時の対応	P 7
4. 本製品の特徴	P 2	12. アフターサービスについて	P 7
5. パーツリスト	P 3	13. 本製品の仕様	P 8
6. 各部の名称と働き	P 3	14. 用語の説明	P 8
7. リフラッシュ作業の流れ	P 3	15. 改訂の記録	P 8
8. 操作画面	P 4	16. 保証について	P 8

3. 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。  
本製品を正しくご使用いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

**警告** 作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合。

**注意** 作業者又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合 (人損)  
拡大物損の発生が想定される場合 (拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害 (例えば車両の破損及び焼損))

### 警告

- 換気の良い場所で作業を行ってください。  
換気の悪い場所で作業すると、爆発及び火災の原因となります。
- コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。  
ショートなどによる火災、及び電装品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭などの異変があった場合には本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。  
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 作業は、車両を駐車しておける場所で行ってください。
- ECUの書込みが完了する前にFlash Editorを取外してしまうと、エンジンが始動しなくなります。

注意

- 本製品の取付けは必ず専門業者に依頼してください。  
専門外の方が作業されると、火傷やけがなどを負う恐れがあります。
  - 本製品の加工・分解・改造などの誤使用及び修理は絶対に行わないでください。  
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
  - 高温になる場所・水などがかかりやすい場所・湿気やほこりの多い場所を避けて取付けてください。  
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
  - 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。  
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
  - 故障などの修理はおお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
  - 走行中、車両に異音・異臭・振動などの異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
  - 本製品をご使用の前に、以下の確認を行ってください。
    - ・車両に搭載しているECUが、メーカー純正品であること。
    - ・ECUのデータがノーマルであること。  
(他社製リフラッシュツールなどで、データが変更されていないこと)
- 他社製リフラッシュツールなどでECUデータが書替えられている場合、Flash Editorを使用することができない場合があります。  
ECUを純正ノーマルデータに書戻してからFlash Editorをご使用ください。
- ・CAN通信ラインにアフターパーツを装着していないこと。
  - ・CAN通信ラインにアフターパーツを装着した状態ですと、ECUデータの書込みに失敗します。
  - コネクタを抜き差しする際は、必ずコネクタを持って行ってください。  
ケーブルを引っ張ってしまうと断線の恐れがあります。
  - 車両の修理や車検の際は、必ずECUをノーマルデータに書戻してから車両を業者に引き渡してください。  
(P5-③ ECU書替えの手順で「NORMALデータ」を選択し、書込みを完了してください。)
  - ・ECUがカスタムデータの状態で、業者が使用する故障診断機で通信が正常に行われず、ECUが故障と診断されてしまう可能性があります。
  - ・ECUをノーマルデータに書戻してあれば診断機の通信は正常に行われます。
  - 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。
  - 本製品で書換を実施したECUは、メーカーのリプログラミングが受けられなくなります。
  - リプログラミングを受ける際は、お買い上げの販売店又は、サポートセンターへお気軽にお問い合わせください。

4. 本製品の特徴

- ・本製品は車両のOBD IIコネクタから、純正ノーマルECUをカスタムデータに書替えるツールです。
- ・車両からECU IDを読み後、「初期化ツール」を使用してFlash Editorを“初期化”する事で下記のカスタムデータを使用できるようになります。
- ・カスタムデータの内容は「初期化ツール」のバージョンにより異なります。  
「初期化ツール」のバージョンは、HKSホームページでご確認ください。

【T/Cで初期化後、ECU書替えに使用できるデータ】

NORMAL: ノーマルデータ
PHASE1: スピードリミッターカット
PHASE2: スピードリミッターカット + ブーストアップ + ドライブビリティ向上

【GT3で初期化後、ECU書替えに使用できるデータ】

NORMAL: ノーマルデータ
PHASE1: GTⅢFX専用データ
PHASE2: GTⅢFX専用データ

※PHASE1とPHASE2は同じデータです。

- ・カスタムデータを使用する車両は、下記【装着パーツ一覧】に記載の“○”のパーツのみを装着可能です。
  - : 装着必須パーツ ○: 装着可能パーツ
  - ×: 装着禁止パーツ △: 条件付き装着可能パーツ

装着パーツ一覧		PHASE1	PHASE2	PHASE1	PHASE2
T/C	GTⅢFX	×	×	●	●
マフラー	LEGAMAX Premium Hi-Power SPEC-L II Super Turbo Muffler	○	○	○	○
触媒	METAL CATALYZER	○	○	○	○
吸気	Racing Suction Super Power Flow Super Air Filter	○	○	○	○
I/C	INTERCOOLER KIT	○	○	○	○
電子パーツ	Power Editor	○	△ (※1)	△ (※1)	△ (※1)
その他	吸排気系パーツや、各種センサ 信号に変更を加える製品など	×	×	×	×

※1) Flash Editor と Power Editor の併用は推奨致しません。  
Power Editor をご使用のお客様は Power Editor (Easy Writer) 又は  
Flash Editor のリセッティングが必要になります。

注意

- ・【装着パーツ一覧】の“○”以外のパーツを装着した車両でカスタムデータを使用すると、車両を破損する恐れがあります。
- ・“○”以外のパーツを装着する場合は、Power Writerでの現車セッティングが必要になります。

- ・Power Writerは、Power Writer契約店でのみ利用できます。
- ・本製品1台につき1台の車両でのみ使用できます。
- ・別の車両で使用したい場合、現在使用している車両のECUをノーマルデータに書戻すことで、別の車両で使用出来るようになります。

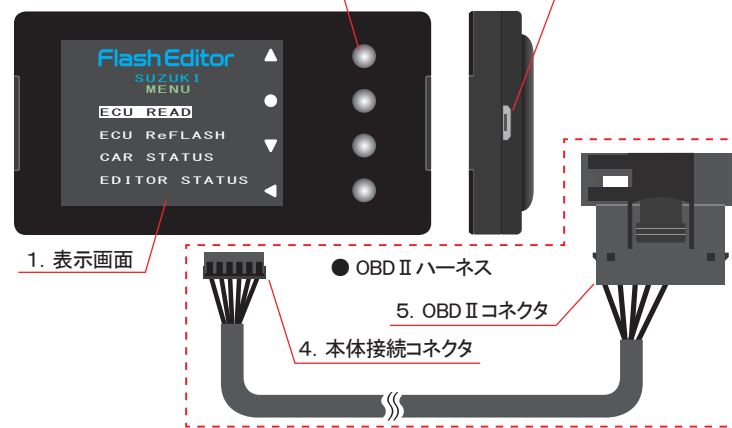
5. パーツリスト

- コードNo. : 42015-AS102  
品 名 : Flash Editor

1 Flash Editor	2 OBD II ハーネス	3 USBメモリ	4 取扱説明書
1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ

6. 各部の名称と働き

- Flash Editor本体



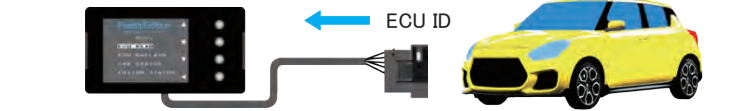
1. 表示画面 : リフラッシュ作業の状況などを表示します。
2. 操作ボタン×4 : リフラッシュ作業の操作ボタンです。  
上から、「▲: 上」、「●: 選択」、「▼: 下」、「◀: 戻る」、ボタンです。
3. USBコネクタ : パソコンとの接続に使用します (初期化ツール、Power Writer使用時)。
4. 本体接続コネクタ : 「本体」と「OBD II ハーネス」を接続します。
5. OBD II コネクタ : Flash Editor と車両を接続します。

7. リフラッシュ作業の流れ (詳しい操作方法は「8. 操作画面」を参照)

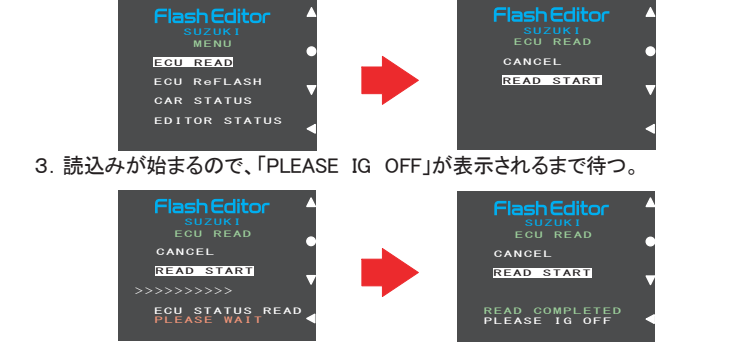


8. 操作画面

① ECU IDを読み込む (初回のみ)



1. Flash Editorを車両のOBD IIコネクタに接続後 IGをONにし、10秒以上待つ (エンジンは掛けしないでください)。
2. MENU画面から「ECU READ」を選択し、「READ START」を選択する。



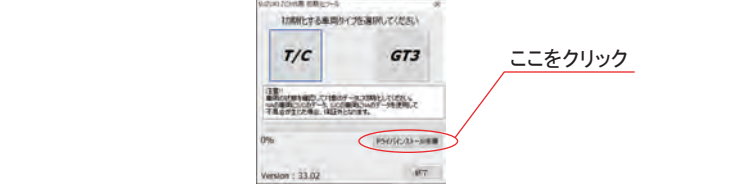
4. 読み完了後IGをOFFし、Flash Editorを車両から取外す。

② 「初期化ツール」を使用して、Flash Editor を“初期化”する。(初回のみ)

1. パソコンを使用して、同梱のUSBメモリに入っている「初期化ツール」 (SUZUKI\_ZC33S\_InitializationTool.exe) を実行する。



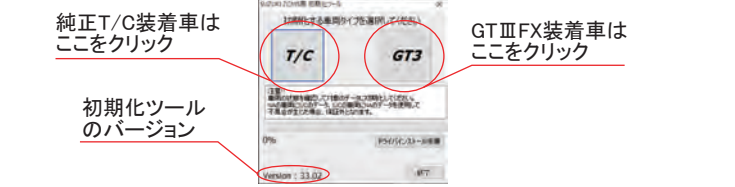
2. 初期化ツールの「ドライバインストール手順」ボタンをクリックし、表示された手順に従ってドライバをインストールする。



3. USBケーブル (別売) を使い、パソコンにFlash Editorを接続する。



4. ドライバが正常にインストールされたら、使用する車両に合った“タイプ”のボタン (T/C又はGT3) をクリックして、“初期化”を開始する。



5. 「初期化が完了しました」と表示されたら、パソコンから Flash Editorを取外す。



アドバイス :

※ micro USB コネクタは、ツメがある方を手前にして接続してください。

